

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786 - 5122	●北陸支店	TEL (076) 263 - 4311
●東北支店	TEL (022) 288 - 8676	●関西支店	TEL (06) 7167 - 3644
●東京支店	TEL (03) 5753 - 7703	●中国支店	TEL (082) 504 - 8282
●関東支店	TEL (03) 6374 - 5687	●四国支店	TEL (087) 863 - 6761
●中部支店	TEL (052) 533 - 0231	●九州支店	TEL (092) 621 - 5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99742502 310 G

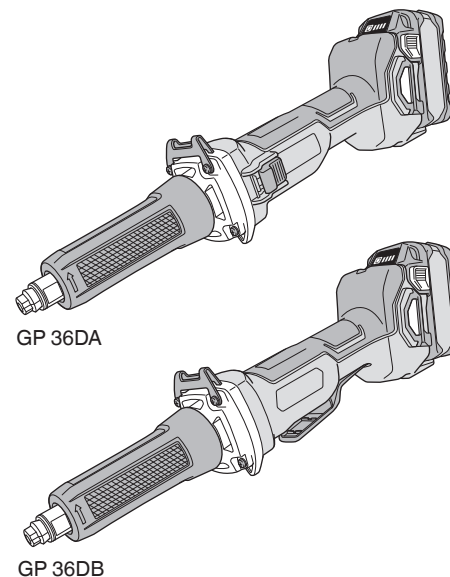
HIKOKI

取扱説明書

コードレスハンドグラインダ

36 V
25 mm GP 36DA GP 36DB

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



GP 36DA

GP 36DB

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用する
ことはできません。日本国外で使用了場合は、仕様上の
性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理
または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be
sold or used in any other country. Otherwise, product may not
perform as intended. No authorized service or warranty is
available outside of Japan.

用途

- プレス押型、抜型、ダイカスト型、モールド型
などの仕上げ研削作業
- ダイス、カッタ、工具類その他小形部品の
仕上げ研削作業
- 陶磁器、タイル、合成樹脂などのバリ取り、
仕上げ研削作業

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	8
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	10

使い方

作業環境の整備	11
蓄電池の取付け・取りはずし	11
スイッチについて	12
トイシについて	13
本製品の特性について	13
モード切替機能について	14
軸付トイシ、 軸付フラップホイールの取付け	15
インターナルトイシ (平形トイシ)の取付け	17
研削する	19
サイドハンドルの取付け方	21

その他

保守・点検	22
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で 사용하지 しないでください。**
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスハンドグラインダについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 使用するトイシは、下記条件の軸付トイシ、軸付フラップホイールまたはインターナルトイシ（平形トイシ）を取付け、正しい使用面で研削してください。

外 径	最高使用周速度
25 mm 以下	45 m/s {2,700 m/min} 以上

正規以外のトイシを使用すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

- ② トイシやコレットチャック、トイシ軸の取付け・取りはずしの際はスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
- ③ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ④ 人体に有害な成分（鉛、シリカ、ヒ素、クロムなど）を含む材料を加工しないでください。
- ⑤ 使用中は、振り回されないよう機体をしっかりと保持してください。特に始動時は気を付けてください。サイドハンドル（別売部品）を使用する場合は、サイドハンドルをしっかりと取付けてください。
- ⑥ 水、研削液などは使用しないでください。
乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。
- ⑦ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑨ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすい物、傷付きやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
- ⑩ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑪ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑫ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やトイシなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

⚠警告

- ⑬ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑭ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑮ 【事業者の方へ】
トイシの取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令 労働安全衛生法 第59条
労働安全衛生規則 第36条
安全衛生特別教育規程 第2条

⚠注意

- ① 工具類（トイシなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時、体を避けてください。
- ③ トイシの取扱いには、革手袋、布などで手を保護してください。
- ④ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ⑤ 試運転を励行してください。
試運転は、トイシ交換後は3分間以上、その日の作業始め前は1分間以上行ってください。
- ⑥ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- ⑦ 無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような力をかけることはしないでください。
作業能率を低下させるだけでなく、コレットチャック、またはトイシ軸の変形や先端工具が破損する原因になります。

⚠ 注意

- ⑧ 先端工具、コレットチャック、またはトイシ軸が確実に締付けられていることを確認してください。
- ⑨ 作業直後の先端工具、コレットチャック、またはトイシ軸は高温になっているので、触れないでください。
- ⑩ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

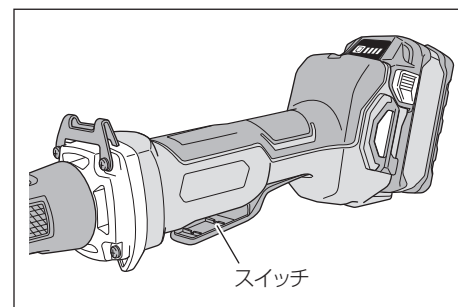
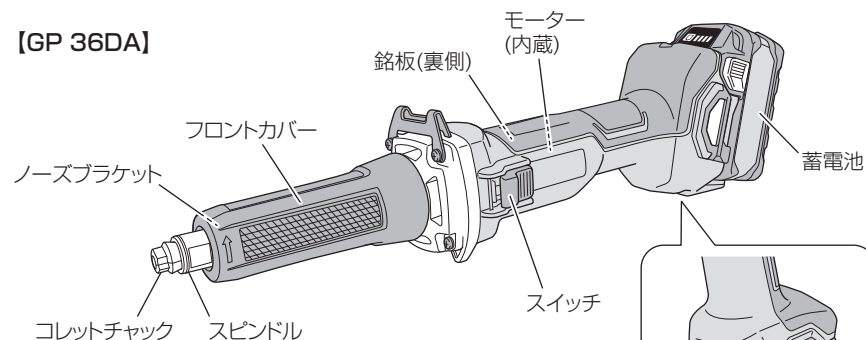
⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

各部の名称

【GP 36DA】



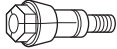
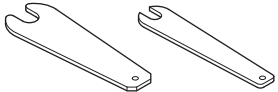
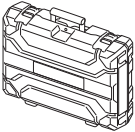
【GP 36DB】

仕 様

形 名	GP 36DA	GP 36DB
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター	
最大コレットチャック軸径	6 mm	
使用可能最大先端工具径	25 mm	
無 負 荷 回 転 数 [気温20℃満充電時]	7,000 ~ 29,000 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
寸 法 全長×高さ×全幅	468 × 121 × 86 mm [BSL 36A18X 装着時]	
電 池 電 圧	36 V	
使 用 可 能 蓄 電 池	マルチボルトタイプ蓄電池*	
質 量	2.6 kg [BSL 36A18X 装着時]	

※ AC/DCアダプタ(ET 36A)は使用できません。

標準付属品

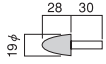
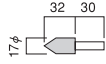
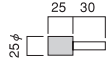
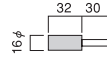
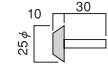
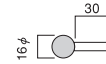
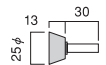
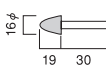
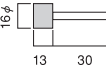
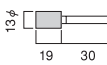
品 名	仕 様	XPZ	NN
コレットチャック (6 mm) (本体装着)		1 個	1 個
スパナ 12 mm, 17 mm		各 1 本	各 1 本
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書をご参照ください。		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書をご参照ください。		1 台	—
収納ケース		1 個	—
電池カバー		1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

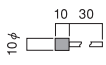
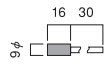
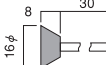
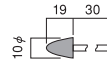
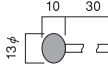
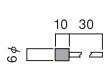
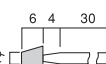
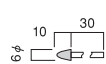
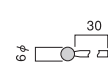
用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注 軸付トイシは、ステンレス材での高速回転の研磨作業に適していません。

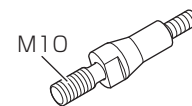
● 6 mm 用軸付トイシ 粒度 (WA60P)

KA-2 	KA-3 	KA-4 	KA-5 	KA-7 	KA-8 
KA-9 	KA-11 	KA-12 	KA-13 		

● 3 mm 用軸付トイシ 粒度 (WA80P)

KA-20 	KA-21 	KA-22 	KA-23 	KA-24 
KC-20 	KC-21 	KC-22 	KC-23 	KC-24 

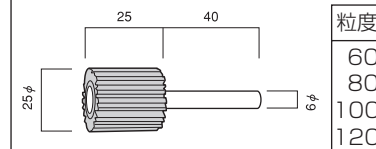
● インターナルトイシ 取付け用トイシ軸



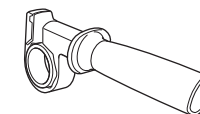
トイシ取付けね径：M10

インターナルトイシは、
外径 25 mm 以下の市販品
をお買い求めください。

● 軸付フラップホイール



● サイドハンドル

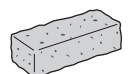


● コレットチャック



● ドレッサー

トイシの目詰まり修正



作業環境の整備

薄い鋼板などを研削する場合には、作業台の状況によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音が出る場合があります。このような場合には、鋼板の下にゴムシートを敷くなどして騒音を出さない配慮が必要です。

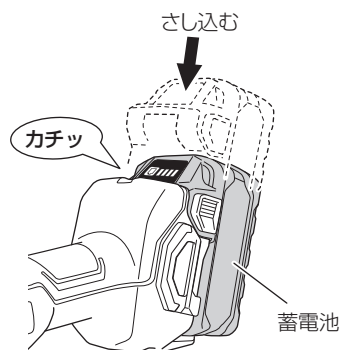
○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

蓄電池の取付け・取りはずし

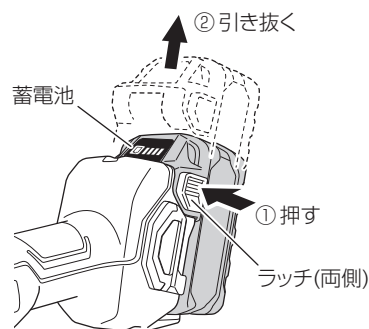
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



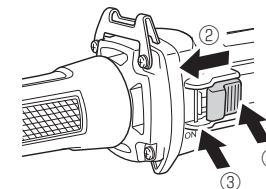
スイッチについて

GP 36DA

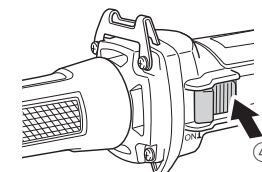
スイッチは①の方向に押して、②の方向にスライドさせた後、③の方向に押し込むとスイッチがロックされ、連続運転ができます。

ロックを解除し、スイッチを切るときは④の方向にスイッチを押します。

連続運転



ロック解除



GP 36DB

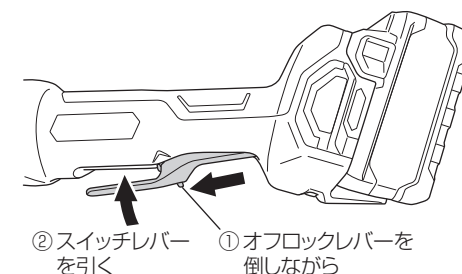
不意に作動することを防止するため、オフロックレバーを同時に操作しないと、スイッチが入らない構造です。

スイッチを入れるときは、オフロックレバーを矢印方向に倒しながら、スイッチレバーをしっかりと引いてください。

オフロックレバーは、スイッチレバーを引くことで倒れた状態に固定され、スイッチレバーをはなすと自動的に戻ります。

⚠警告

オフロックレバーを倒した状態で固定しないでください。



トイシについて

被研削物の材質によって使用するトイシの種類が変わります。研削用途に適したトイシをお選びください。

以下に被研削物の材質とトイシの目安を示します。

被 研 削 材 の 材 質	と 粒	粒 度	結合度	結合剤
軟 鋼、硬 鋼、鍛 造 鋼	WA	60～80	P	V
鋳 鉄	C	36	M～O	V
黄銅、青銅、アルミニウム	C	36	J～K	V
陶 磁 器	WA	60～80	M	V
合 成 樹 脂	C	36	K～M	V

小さな面の研削作業は、別売部品の3mm用コレットチャック、および軸付トイシを使用してください。

寸法はP.10「別売部品」をご参照ください。

本製品の特性について

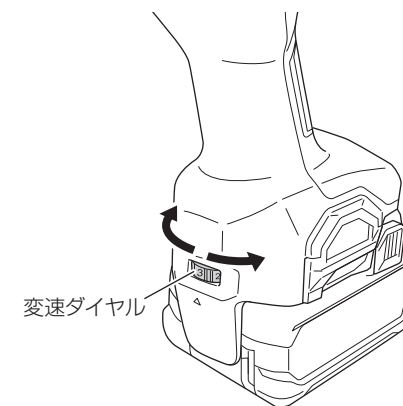
本製品では電子制御を行っており、下記のような特性があります。

特 性	内 容
ソフトスタート	起動時の回転数を制御することで、作業への反動を低減します。
ブレーキ機能	スイッチを切るとブレーキが働き、モーターの回転を停止させます。
過負荷保護機能	作業中一定以上の負荷が加わると、モーターが停止します。
温度保護機能	機体の温度が一定以上になると、制御部の保護のため停止します。機体の温度が下がれば、再び使用できます。
再起動防止機能	スイッチを入れた状態で、蓄電池を工具本体にさし込んでも起動しません。スイッチを一度切ること、解除することができます。
モード切替機能	P.14「モード切替機能について」をご参照ください。

モード切替機能について

本機には、「変速モード」と「オートモード」の2モードが備えられています。

変速モード	変速モードでは、トイシの回転数を5段階に設定できます。 負荷が変化しても、ダイヤルで設定した回転数を維持します。
オートモード	モーターの無負荷時の最高回転数を低くすることで、騒音を抑えることができます。 作業中に負荷が大きくなると、回転数を自動的に引き上げます。 また、負荷が小さくなると、自動的に回転数を下げます。



変速モードではトイシの回転数を変えられます。以下を参考に、モード設定およびダイヤル設定をしてください。

モード	回転数 (min ⁻¹) {回 / 分}		用 途	
変 速	ダイヤル設定	1	7,000	研磨・仕上げ
		2	13,800	塗装はがし
		3	16,600	さび落とし
		4	24,400	バリ取り
		5	29,000	研削
オート	A	15,000	作業待機状態、または軽負荷作業	
		29,000	研削	

軸付トイシ、軸付フラップホイールの取付け

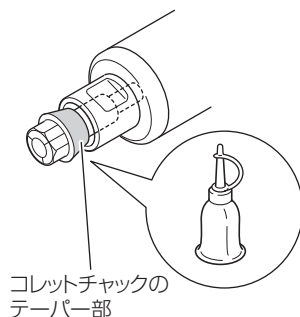
軸付トイシ、軸付フラップホイールは以下の物を使用し、次の手順に従い確実に取付けてください。

外 径	軸 径	最高使用周速度
25 mm 以下	6 mm または 3 mm	45 m/s 以上 { 2,700 m/min 以上 }

1 コレットチャックの内径と先端工具の軸径を確認する

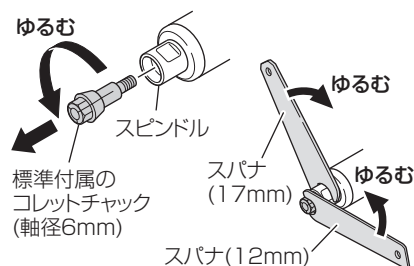
コレットチャックは、軸径 6 mm 用が標準付属されています。
使用する先端工具の軸径が 3 mm の場合、手順②～③に従って、コレットチャックを別売部品の軸径 3 mm 用のコレットチャックに交換してください。

注 軸付トイシ、軸付フラップホイールを取付ける場合は、下図に示すテーパ部にスピンドル油（ミシン油でも良い）を少量塗布してから、コレットチャックを締めてください。



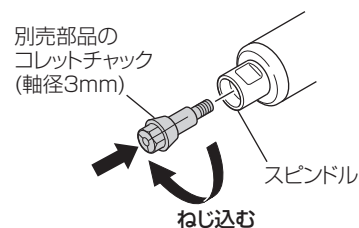
2 コレットチャックを取りはずす

簡単にゆるまないときは、付属の 2 本のスパナを使用して取りはずしてください。



3 コレットチャックを取付ける

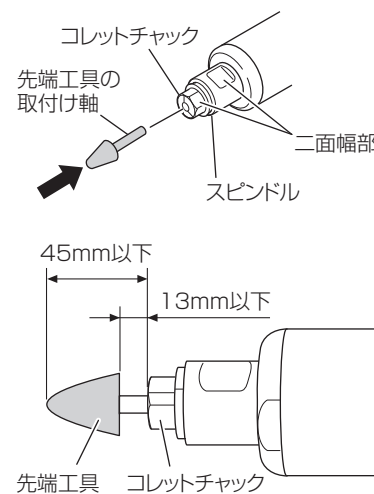
コレットチャック（軸径 3 mm 用）をスピンドルに軽くねじ込んでください。



注 コレットチャックに正規の軸径より細い軸を入れたり、何も入れない状態でコレットチャックを締めないでください。
コレットチャックが破損する恐れがあります。

4 軸付トイシまたは軸付フラップホイールをさし込む

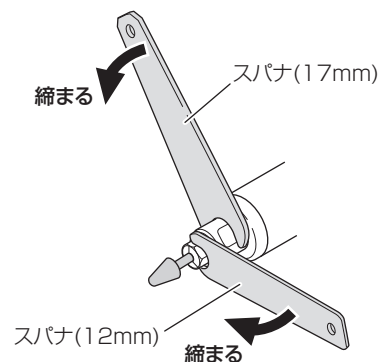
コレットチャックに先端工具を取付ける場合は、下図のようにしてください。



注 長く出しすぎると振動が大きくなり、機体に悪影響を与えます。

5 コレットチャックと先端工具の取付けを確認する

付属の 2 本のスパナをスピンドルと、コレットチャックの二面幅部に引っ掛けて、しっかりと締付けてください。
締付けた後、手でゆるまないことを確認してください。



インターナルトイシ（平形トイシ）の取付け

警告

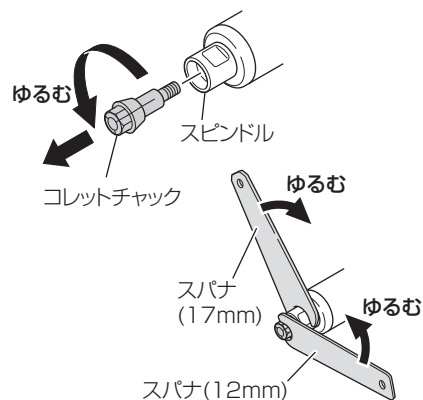
- トイシ軸を取付ける際は、コレットチャックを取りはずしてください。
- インターナルトイシは、凹みとラベルが外側になるように取付けてください。
トイシが破損する恐れがあります。

インターナルトイシは以下の物を使用し、次の手順に従い確実に取付けてください。

外 径	ねじ径	最高使用周速度
25 mm 以下	M10	45 m/s 以上 { 2,700 m/min 以上 }

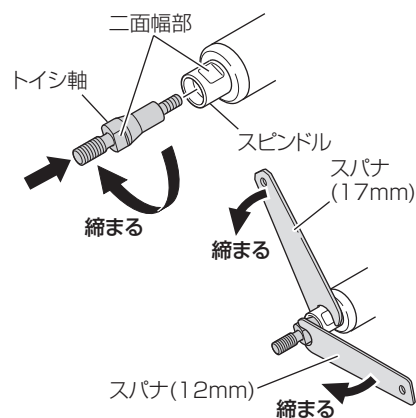
1 コレットチャックを取りはずす

簡単にゆるまないときは、付属の2本のスパナを使用して取りはずしてください。



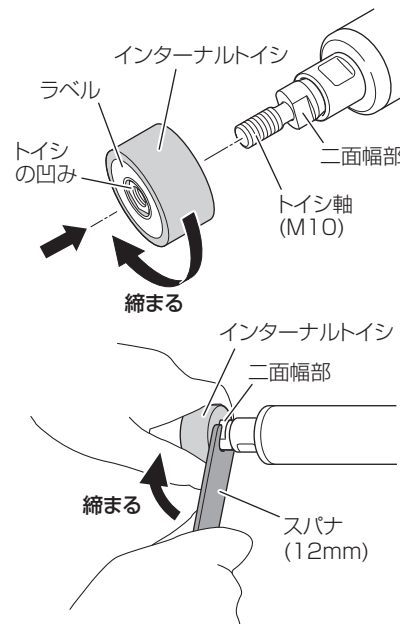
2 トイシ軸を取付ける

付属の2本のスパナをスピンドルとトイシ軸の二面幅部に引っ掛けて、しっかりと取付けてください。



3 インターナルトイシを取付ける

付属のスパナ（12 mm）をトイシ軸の二面幅部に引っ掛けて、しっかりと取付けてください。



4 トイシ軸とインターナルトイシの取付けを確認する

スパナ（17 mm）、スパナ（12 mm）を取りはずした後、手でゆるまないことを確認してください。

⚠警告

- 作業中は、保護メガネと防じんマスクを使用してください。
- 機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。
誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、トイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

1 スイッチが切れていることを確認する

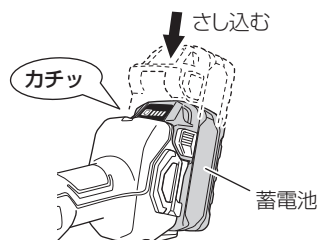
(P.12「スイッチについて」参照)

2 トイシを点検する

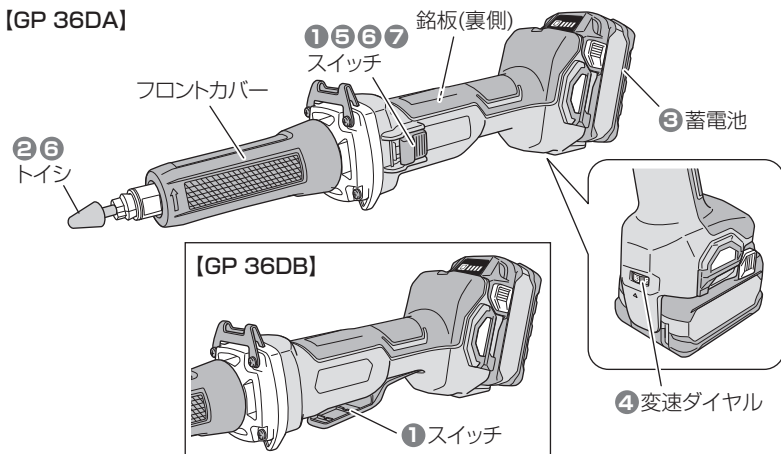
- トイシは正規のモノか、またヒビや割れがないか調べてください。
- トイシは正規の状態に取付けられ、しっかりと締付けられているか点検してください。

3 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。
(P.11「蓄電池の取付け・取りはずし」参照)



【GP 36DA】



⚠注意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触した状態でスイッチを入れると、トイシが破壊する恐れがあります。
- フロントカバー（サイドハンドル）が、しっかりと取付いていることを確認してください。

4 回転数をセットする

変速ダイヤルで用途に合った回転数に設定します。(P.14「モード切替機能について」参照)

5 試運転を行う

- 異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切ってトイシの取付けやヒビ、割れを点検してください。
- 作業前には人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転時間は
トイシ交換のとき …… 3 分間以上
その日の作業始めのとき … 1 分間以上

注 低速での長時間の連続作業や、研削中にトイシが停止するような使い方はしないでください。

研削中はトイシを軽く被削材に当てて、高い回転数を保持してください。無理に押し付けるとトイシ軸が曲がることもあり、仕上がり品質の低下や故障の原因になります。

6 材料にトイシを当てる

使用するトイシで指定されている正しい使用面で研削してください。

7 作業を終了する

使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。
回転が止まらないうちに切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあります。
機体の寿命低下、事故の原因になりますので注意してください。

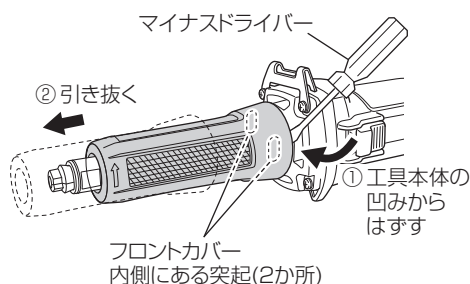
🔧 サイドハンドルの取付け方 (別売部品)

⚠️ 注意

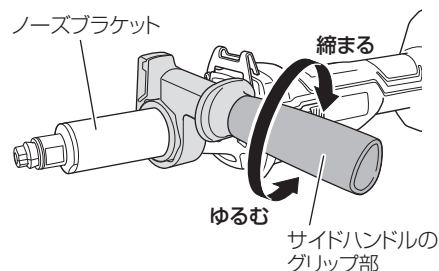
サイドハンドルのグリップ部を十分に締付けてください。
グリップ部の締付けがゆるいと、作業時の反力を受けきれず、回ってしまうことがあります。

- 1 フロントカバーをはずします。
フロントカバー内側にある突起を、工具本体の凹みからはずして引き抜きます。かたいときはマイナスドライバーなどを使ってはずしてください。

注 作業中や作業直後はノーズブラケットが高温になります。



- 2 サイドハンドルをノーズブラケットに挿入します。



- 3 作業に応じて、サイドハンドルを使いやすい位置・角度に調整し、サイドハンドルのグリップ部を回して、しっかりと固定してください。

保守・点検

⚠️ 警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

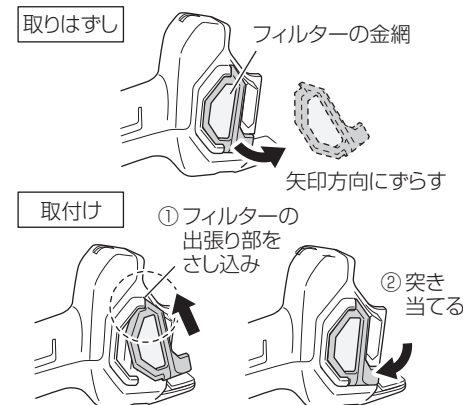
● モーターの取扱いについて

モーター (内蔵) (P.8「各部の名称」参照) に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

● フィルターの清掃

使用後はフィルターをはずし、金網に付着したごみやほこりを取り除いてください。

注 ● フィルターを取りはずして無負荷運転し、湿気のない空気を入れることで、内部のごみやほこりを排出してください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。
● 清掃後、フィルターを確実に取付けてください。



● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃ 未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所